

3 ニホンスッポン

(スッポン科)

兵庫県ランク:要調査

Pelodiscus sinensis

環境省ランク:DD

種の概要

関東以西の本土に分布し、朝鮮半島や極東ロシア南部にも見られる。甲長は15～30 cm程度。吻端が尖り、甲の表面は皮革状。夜行性で、貝類、甲殻類、水生昆虫、小魚、カエル類などを捕食。こうした小動物の豊かな河川や湖沼に生息し、日中は水底の砂中などに潜む。雌は5～8月に上陸して穴を掘り、20個から多いときは50個あまりもの球形の卵を産む。



写真提供: 当山 昌直

県内における生息状況及びその他特記事項

国内各地で、外見での識別が困難な一方で遺伝的には明確に異なる在来系統と外来系統（中国・台湾原産）が混在することが強く示唆されている。県内では淡路島を除く低地の陸水に広く見られるが、神戸市内や姫路市内では、在来系統と外来系統の混在や交雑個体の出現が確認されており、他のほとんどの地域では、生息する集団の在来性・外来性は不明。

保護上の留意点

神戸市や姫路市での集団遺伝学的研究からは、外来系統から在来系統への遺伝浸透を示唆する結果が得られている。今後、県内のより広い範囲で純粋な在来系統のみから成る集団を特定し、こうした集団の生息範囲内への、外来系統の侵入を防止する仕組みを構築する一方、すでに入っているものについては、排除してゆく必要がある。

県内分布

神戸市、尼崎市、西宮市、伊丹市、明石市、加古川市、小野市、加東市、多可町、赤穂市、宍粟市、たつの市、佐用町、朝来市、丹波市

【執筆者】太田 英利

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	
	捕獲	
	遺伝	○
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	

